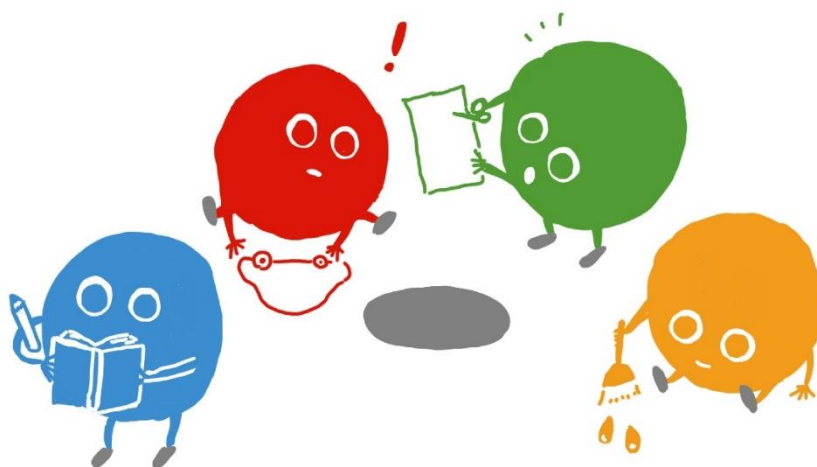




FORUM2023 <おもしろいで遊ぶ図工室・美術室>



おもしろい遊ぶ子どもおとな

日時 2023年11月23日(祝)
12:30 開場/13:00 開始

神戸会場 兵庫県立美術館 レクチャールーム
メイン会場 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1(HAT 神戸内)

埼玉会場 埼玉大学教育学部附属中学校
サテライト会場 埼玉県さいたま市南区別所 4-2-5

両会場どちらでもご来場ください。
神戸会場での講演・発表を受け、両会場でディスカッションを行います。

定員 120名 神戸会場 90名 定員になり次第募集を終了します
埼玉会場 30名

会費 500円 両会場とも当日受付でお支払いください

申し込み 右のQRコード、またはANCSのWEBサイトから

記念講演

中邑 賢龍 氏

東京大学先端科学技術研究センター
シニアリサーチフェロー



お問い合わせ先

岡山大学学術研究院教育学域
清田哲男

086-251-7663

kiyota925@okayama-u.ac.jp





子どもが「やってみたい」、「やりとげたい」の夢や願いを叶えたとき、その子どもの中にある社会が広がっていくと考えています。

その時の子どもたちの原動力はきっと「おもしろい」。

本当はおもしろくなさそうと思っていたことや、イヤイヤさせられているような「自分の価値の外側」にあることを、「おもしろそう!」に変えるのが
図工や美術の時間だと思えます。一生懸命に素材や自分や友達のことを考えると、アートで遊べるのかもしれない。

このような考え方に基づいた授業の流れを、「創造性が社会と出会う美術教育」の学習モデルと称することにしました。英語表記にしたときは
“Art Education Nurturing Creativity through Encounters with Society”となりますから、その頭文字をとって ANCS(アングス)モデルと呼ん
でいます。

ANCS モデルでの学習活動を、小学校から高校までの図工室・美術室での連続した授業の中でつくるためには、まず、先生自身がいつもの日常や、自然や社会
を「おもしろいに変える」から「やってみたい」の夢や願いに変える経験が必要だと考えました。そして、美術ご担当の先生方を中心に大人だけでその「経験」をや
って見ました。コロナの時期を含んだ4年間での「大人の造形遊び」とそこから考えた授業について、美術教育に興味を持たれているみなさまに報告をします。

Event Program

section1 記念講演 中邑 賢龍 氏

東京大学先端科学技術研究センター
シニアリサーチフェロー



section2 大人の造形遊び+アートスタジオ 報告

大人の造形遊び 大人だけでひそかに楽しんだ記録のご報告です

- vol.1 「教師だけの絵の具めたくり大会」
- vol.2 「徹底分解…で、どうする？」
- vol.3 「遊びをつつむ」
- vol.4 「透明ホースと『コウテイ』から生まれる」
- vol.5 「びわ湖に遊ぶ」

ANCS アートスタジオ おもしろいを作るオモシロさについて考えてみました

- vol.1 ANCS アートスタジオ:つまらないを、つくる
- vol.2 ANCS アートスタジオ:DADA をこねる

会場ごとでディスカッション

section3 ANCS 授業検討 授業者による魅力と意義

ANCS モデルの考え方や授業のご報告です

授業構造から考える 大橋功(和歌山信愛大学)

「学びの扇」とは何でしょう 岩本咲(Boston Children's Museum)+清田哲男(岡山大学)

ANCS 題材授業

- 〇〇のおさんぽ 木村仁(滋賀大学教育学部附属小学校)
- 〇〇になる!! ポポポポーズ 武田聡一郎(岡山大学教育学部附属中学校)
- 私を入れる箱 正木晃至(神戸市立吉田中学校)
- モノゴコロ 田窪真樹(大阪市立天王寺中学校)
- 〇〇な色ギリギリライン 妹尾佑介(岡山県立玉島高等学校)

会場ごとでディスカッション

section4 STartLE project 報告

岡山大学の学生によるアートプロジェクトの
ご報告です

- 01 巨大折り鶴を作る
- 02 スリットアニメーション自動ドア
- 03 キカザル1週間展
- 04 光今プロジェクト
- 05 折り紙動物園
- 06 サーモイス
- 07 新しい地図記号
- 08 経験のタイムカプセル
- 09 Animation 日常化プロジェクト
- 10 未来の森プロジェクト
- 11 空気獣 巨大キンギョ

section5 ANCS FORUM2023 ANCS と未来の学び

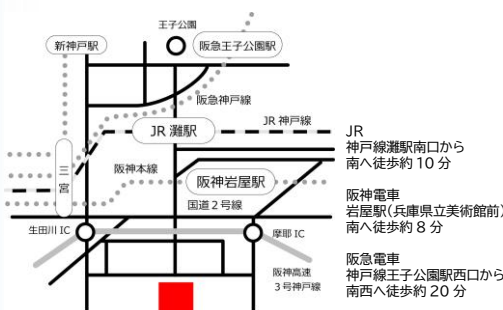
ANCS やアートで学びをつくり出すことのおもしろさについてパネリストが意見を述べ合います。

- パネリスト(予定) 中邑賢龍(東京大学)
鷹木朗(京都芸術大学)
大橋功(和歌山信愛大学)
藤原智也(愛知県立大学)
清田哲男(岡山大学)

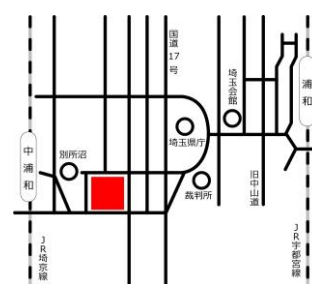
コーディネーター 松浦藍(岡山大学)

Access

<神戸会場> 兵庫県立美術館 レクチャールーム



<埼玉会場> 埼玉大学教育学部附属中学校



埼玉会場担当
小西悟士
(埼玉大学教育学部附属中学校)

※駐車場がありませんので
車の利用はご遠慮ください。

東京、宇都宮、高崎からお越しの方
JR 宇都宮線・高崎線・京浜東北線:
浦和駅西口より徒歩 20 分

新宿、大宮、川越からお越しの方
JR 埼京線:中浦和駅より徒歩 10 分

